

この説明書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読みください。

第2類医薬品

生薬製剤



痛効散はマオウ(麻黄)、キョウニン(杏仁)、ヨクイニン(薏苡仁)、カンゾウ(甘草)の4種の植物生薬をのみやすいエキス顆粒とした製剤です。

痛効散は次のような症状を目標に使用すると、筋肉の緊張を和らげ、体表に停滞している水分の代謝を改善することによって、関節痛、神経痛、筋肉痛にすぐれた効きめをあらわします。

- ◇関節に水がたまり、腫れて痛む…
- ◇四肢が重だるく痛い…
- ◇冷えたり、風に当たったりすると痛みが増す…
- ◇夕方や明け方になると痛みが増す…
- ◇筋肉が腫れたり、緊張があって痛む…

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる〕
次の人は服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
- (4) 胃腸の弱い人
- (5) 発汗傾向の著しい人
- (6) 高齢者
- (7) 次の症状のある人
むくみ、排尿困難

(8) 次の診断を受けた人

高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師または薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

(2) 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合

3. 長期連用する場合には、医師または薬剤師に相談すること

効 能

体力中等度なものの次の諸症：関節痛、神経痛、筋肉痛、いぼ、手足のあれ(手足の湿疹・皮膚炎)

用法・用量

食前または食間に水またはお湯で服用すること

年 齢	1回量	服用回数	食間とは… 食後2～3時間 を指します。
大人(15才以上)	1 包	1日3回	
7～14才	2/3包		
4～6才	1/2包		
2～3才	1/3包		
2才未満	1/4包		

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること

成 分

痛効散は、灰かっ色の顆粒で、3包(1包2g)中、下記植物生葉の抽出乾燥エキス2,020mgを含有します。

マオウ……………4.0g	ヨクイニン……………10.0g
キョウニン……………3.0g	カンゾウ……………2.0g

添加物として乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルスターチを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話:03-5385-3211(代表)

受付時間:9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

® 登録商標



救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7